

2019年度
事業計画書
収支予算書

自 2019年 4月 1日

至 2020年 3月31日

一般財団法人 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS

2019年度事業計画書

■ 基本方針

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを契機に、全ての人が共に生活できる社会の実現を加速させるため、展覧会および舞台芸術公演等を開催し、これら事業の実施を通じて多様な価値観や生き方があることを伝え、それぞれの個性を祝い、支えあう社会のあり方を探り、人々の固定観念を変える契機となることに寄与することを目的として事業を行う。

■ 障害者の芸術活動に関わる展覧会の運営及び情報発信

1. 目的・目標

障害者による表現活動を展覧会、Web、紙媒体、公募事業等を通じて周知し、それをきっかけに障害者への理解を高め、より良い在り方や新たな関係性や試みを生み出し、多様な個性を祝うインクルーシブな社会の実現を目指すことを目的とする。

本事業の推進により、1)障害がある人が製作するアート作品及び「日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS」の取り組みに対する認知拡大を促進し、2)展覧会等の実施や情報発信を通じて障害福祉に関わる意識変革を推進し、3)障害がある人自身が自己の可能性を見出し、自己実現の可能性を高める一助となり、4)2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運の醸成を図ることを目指す。

2. 事業内容

a. 「LOVE LOVE LOVE LOVE」展イベントの開催

- ・会期 2019年7月14日(日)～ 2019年7月16日(火) 3日間
- ・場所 東京ミッドタウンホールA
- ・対象 10代～20代の若年層（特に、この分野に接点のない一般層）
- ・内容 作品展示、トークイベント、ワークショップ、公開制作、参加型プロジェクト 他

b. 「LOVE LOVE LOVE LOVE」展の準備

- ・展覧会の方針の検討、決定
- ・作家、作品のリサーチ及び選定、作品制作の実施
- ・会場構成プランの検討
- ・障害者が主導する鑑賞プログラムの検討
- ・建築物の外構や屋外空間のライトアップ、イルミネーションの検討

- ・本展のコンセプトに基づいたオリジナル商品やグッズの検討
- ・飲食店の展開や料理家とのコラボレーション等の検討
- ・テクノロジー技術を用いた鑑賞アプリの開発
- ・展覧会に関わる人材の育成
- ・特設サイトの開設と運営
- ・広報物の計画と制作

c. 「第2回 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展」の開催

障害のある人にアート活動の機会を提供し、有能なアーティストの発掘、支援を行い、社会に発信することを目的に、障害者アート公募展を実施。

(1) アート作品の公募

- ・期 間 <国外募集>2019年7月2日(火)~7月25日(木)
<国内募集>2019年9月1日(日)~9月20日(金)
- ・募集内容 国内外を問わず、障害のある方が制作したアート作品で過去に受賞歴のない作品。
- ・応募点数 各作者につき3点以内
- ・出品規格 絵画、イラスト、グラフィックデザイン、書、写真、造形など。
素材やテーマは自由。
平面作品 縦200cm×横120cm以内
立体作品 高さ200cm×幅150cm×奥行150cm 重量50kg以内

(2) 公募作品の審査・選考

- ・審査員 秋元 雄史
東京藝術大学大学美術館館長・教授/練馬区立美術館館長
- 上田 バロン
FR/LAME MONGER 代表/イラストレーター
- エドワード M. ゴメズ
RAW VISION 主任編集者
- 藏座 江美
一般社団法人ヒューマンライツふくおか 理事
- 中津川 浩章
美術家/アートディレクター
- 永野 一晃
写真家
- 望月 虚舟
書家
- ・審査方法 <国外募集>
8月上旬に審査員による写真審査を実施。写真審査を通過したものは、国内応募作品とともに実物審査に。
<国内募集>

すべて実物審査。審査員立会いのもと、応募された作品の中から、審査員賞/海外作品賞/入賞/佳作作品を選出

・実物審査実施日 2019年10月14日(月祝) (予定)

(3) その他

- ・授賞式の開催
- ・展覧会の開催
- ・広報物の制作、発送

d. 情報発信

(1) Webメディアによる情報発信

Webサイト「DIVERSITY IN THE ARTS TODAY」を運営し、実施事業の告知、障害者芸術や作者を取り巻く環境、イノベーションを取材し、情報を発信する。

英語サイトを公開し、英語コンテンツの充実を図る。

Webサイトを再構築し、増加したコンテンツを整理・アーカイブ化し、より効率的な情報発信とユーザー側の利便性向上を図る。

(2) ソーシャルメディアの活用

Instagram、Facebook等ソーシャルメディアとWebサイトを連動させ、実施事業の周知を促す。

(3) 紙媒体による情報発信

「DIVERSITY IN THE ARTS PAPER」を年2回発行し、障害者芸術や作者を取り巻く環境、イノベーションをWebサイトと連携して発信する。

■ 多様性をテーマにした舞台芸術シリーズの開催

1. 目的・目標

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて多様性に対する社会的関心が高まっていくことが見込まれます。その機運を生かして、障害・国籍・性別・人種などの違いを超え、全ての人を包み込み、誰も孤立することのない、皆が支えあう社会の実現を目指して事業を展開します。

2019年度は、ダンス、演劇、ミュージカル、コンサートなど様々な企画によるシリーズを行い、社会全体の気運を高めます。これら一連のイベントを通して、上述の社会の実現に向けて、広く国内外へメッセージを伝え、社会的波及効果を生むことを目的とします。10～20代を主なターゲットとして、広く一般市民に共感と行動を引き起こし、2020年を契機に意識の変容が生まれることを目指します。

2. 事業内容

1) 多様な個性のあるアーティストとの連携による舞台芸術シリーズの実施

a. ILL-Abilities ストリートダンス・パフォーマンス（仮称）

- ・時期 2019年9月
- ・場所 渋谷ストリーム 稲荷橋広場、他渋谷エリア
- ・内容 国際的に活動する多国籍で障害のある ILL-Abilities を招聘し、ストリートダンスのパフォーマンスやワークショップを実施。

b. シシドカフカ+サンティアゴ・バスケス el tempo（仮称）

- ・時期 2019年10月
- ・場所 代々木公園野外音楽堂、他東京
- ・内容 ワークショップの参加者とシシドカフカ+サンティアゴ・バスケスと日本代表するアーティストによるグループ「el tempo」がともにステージに立つ。

「Rhythm with Signs」は、パーカッション奏者でありプロデューサーとしても活躍するサンティアゴ・バスケスが開発したサイン・システムを用いて、複数の奏者による即興演奏を創りだす。

c. 松永貴志+TC JAZZ（仮称）

- ・時期 2019年12月
- ・場所 ブルーノート東京、地方のホール・ライブハウス
- ・内容 今回のためだけに世界各地から、言語、性別などにかかわらず集った音楽家がスペシャルなバンドを結成し、障害のあるゲストミュージシャンと特別なセッションを行う。

d. ファッションショー（仮称）

- ・時期 2020年1月
- ・場所 渋谷パルコ（予定）
- ・内容 国籍やLGBT、障害など様々な問題を軸にファッションショーを通して、多様性に気付く場とする。

e. ファマリー ミュージカル公演（仮称）

- ・時期 2020年2月15日、16日
- ・場所 豊島区芸術文化劇場 Hareza タワー
- ・内容 米国で障害のある方たちの就労や社会参加を実現しているファマリーを招聘し、『みにくいアヒルの子』をベースにしたミュージカルを公演する。障害に応じた環境がない日本の舞台芸術分野において、障がいのあるア

アーティスト自身の芸術性や表現力、技術を高める場や表現者としての経験の機会をつくる。

2) 情報発信と広報PRの実施

ホームページやプロモーションビデオを利用した情報発信のほか、チラシ、ポスター、情報紙、インターネット、ソーシャルメディア等、さまざまな媒体を通じた広報・PR活動を行う。10～20代へリーチするツールの活用から、全国の芸術文化施設や福祉関連施設との連携など、社会的波及効果を高める。国内外のマスメディアによる取材や番組制作の可能性を探る。

3) アーティスト・団体調査

国内外の障害や多様性をテーマに活動するアーティストや関連団体の調査を行い、知見やノウハウを本シリーズに活かし、蓄積していく。

日本財団DIVERSITY IN THE ARTS 収支予算書

2019年4月1日～2020年3月31日

収入の部		支出の部	
事業活動収入		事業活動支出	
1. 事業活動収入	1,498,000,016	1. 事業活動支出	1,402,943,000
基本財産運用収入	16		
助成金収入計	1,498,000,000		
障害者の芸術活動に関わる展覧会の運営及び情報発信	137,310,000	障害者の芸術活動に関わる展覧会の運営及び情報発信	42,253,000
「日本財団DIVERSITY IN THE ARTS 企画展(仮称)開催に向けた制作と周知	806,010,000	「日本財団DIVERSITY IN THE ARTS 企画展(仮称)開催に向けた制作と周知	806,010,000
障害者のアート作品を展示する公募展の開催	55,770,000	障害者のアート作品を展示する公募展の開催	55,770,000
多様性をテーマにした舞台芸術シリーズの開催	498,910,000	多様性をテーマにした舞台芸術シリーズの開催	498,910,000
入場料収入	0		
2. 投資活動収入	0	2. 管理費支出	95,057,000
		3. 予備費支出	0
当期収入合計	1,498,000,016	当期支出合計	1,498,000,000
前期繰越収支差額	1,982,388	当期収支差額	16
収入合計	1,499,982,404	次期繰越収支差額	1,982,404